



セルフSSにおけるAIによる給油許可監視 の実装に向けたAIシステムの評価方法等 に関する検討について

2021年7月9日
石油連盟

SSにおける人手不足等を背景とし、安全確保を前提としたSS運営の効率化・省人化に向け、石油元売会社では、セルフSSにおけるAIによる給油許可監視システムの開発を進めております。本件は、2019年度の消防庁「過疎地域等における燃料供給インフラの維持に向けた安全対策のあり方に関する検討会」にて石油連盟より検討課題の一つとして提案し、2020年度と同検討会にて、給油許可監視業務におけるAI活用のイメージが整理されているところです。

消防庁より、AIシステムの評価方法等について石油業界側で素案を作成してほしいとの要請を受け、本年6月に石油連盟にWGを設置し、AIシステムの評価方法等に関する業界標準ガイドラインの作成を開始しております。今年度の「危険物施設のスマート保安等に係る調査検討会」の第2回（11月頃予定）において業界標準ガイドラインの骨子を説明し、委員の皆様のご意見を伺いたいと考えております。

※石油連盟のWGには、石油元売会社、AIシステム開発関係会社、消防庁、(株)野村総合研究所(事務局)が参加。

業界標準ガイドラインに盛り込む項目(想定)

1. 給油許可・監視業務におけるAIシステム活用の前提事項
 - ① 給油許可・監視・緊急時対応等の関連する業務の範囲
 - ② 上記のうち、AIシステムを適用する業務・適用しない業務

2. 業務要件
 - ① AIシステムの利用にかかる法制度の整理
 - ② AIシステムの利用時における業務手順
 - ③ 正常な給油動作とリスクとする給油動作の定義

3. 機能要件
 - ① 推奨するSS設備の要件

4. 評価方法
 - ① 活用するAIシステムの評価項目
 - ② 活用するAIシステムの基準となる指標

5. 試験方法

- ① AIシステムの試験を行う際の前提条件
- ② AIシステムの試験の対象と実施手順
- ③ 試験用給油シナリオ

6. 法的な事務手続きの手順(あり方)

7. AIシステムを活用する際の運用体制・緊急時対応

以上